

10月29日(木) 14:00-16:40

セッションチェアマン：松浦 正純(ルネサス エレクトロニクス㈱)・山崎 治(シャープ FIT オートモティブ㈱)

◆ コロナ書奥が加速する自動車産業・ビジネスの変化



アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社
プリンシパル
濱田 悠

[講演要旨]

CASE、MaaS の進展に加え、新型コロナ感染症の対応を余儀なくされることで、OEM・サプライヤーのビジネス構造には大きな変化がもたされることが想定される。本講演では、こうした変化の潮流とそれがもたらすビジネス上のチャンスとリスクを考察していく。

[講演者プロフィール]

京都大学工学部情報学科卒業。総合系コンサルティングファームを経て ADL に参画。自動車・モビリティ領域を中心とした事業戦略策定、新規事業構想・実行等のプロジェクトを数多く経験。また経済産業省での自動車／モビリティ産業政策企画の経験を有し、官民連携の取り組みにも注力している。

◆ ポストパンデミック時代のモビリティ革命



オートインサイト株式会社
代表
鶴原 吉郎

[講演要旨]

自動車産業はいま、100年に一度と言われる変化の波にさらされている。そのキーワードは「CASE」すなわちコネクテッド、自動化、サービス化、電動化の4つだ。これらの変化がパンデミックでどのように変化するかを考察する。

[講演者プロフィール]

日経マグロウヒル社（現在の日経 BP 社）に入社後、新素材技術誌、機械技術誌を経て、2004年に、日本で初めての自動車エンジニア向け専門誌「日経 Automotive Technology」の創刊に携わる。2004年6月の同誌創刊と同時に編集長に就任。2013年12月まで9年9カ月にわたって編集長を務める。2014年3月に日経 BP 社を退社し、2014年5月に自動車技術・産業に関するコンテンツの編集・制作を専門

とするオートインサイト株式会社を設立、代表に就任。日経 BP 総研 未来ラボ客員研究員。
主な著書に「自動運転 ライフスタイルから電気自動車まで、すべてを変える破壊的イノベーション」（日経 BP 社、共著）、「自動運転で伸びる業界 消える業界」（マイナビ出版）、「EV と自動運転——クルマをどう変えるか」（岩波新書）。日経ビジネス電子版に「クルマのうんテク」を連載中。

◆ コロナウイルスによる今後の車載カメラ市場への影響



株式会社テクノ・システム・リサーチ
第1グループ
アシスタントディレクター
駒田 隆彦

[講演要旨]

コロナウイルスの影響により、自動車市場の減少や開発案件の凍結、先送りなどにより、これまで右肩上がり成長してきた車載カメラ市場にも影響がでている。本講演では、コロナの影響による車載カメラ市場の変化と今後の方向性についてご報告させていただきます。

[講演者プロフィール]

1984年 東京理科大学 理学部卒業。
1986年 株式会社テクノ・システム・リサーチに入社、現在に至る。
半導体関連、ストレージ関連の調査を担当。
2013年から車載カメラ、センシング関連も担当。

※本講演に興味を持たれた方は、こちらの講演もご覧になっています。

【A-2】モビリティ進化を支える革新的キーテクノロジー

【A-3】次世代車載パワーデバイス